

EMI+EMS 簡単&高精度 全自動測定



業界初 150kHz~8GHz

EMI+EMS スポットイミュニティ機能でリアルEMC対応

直交+回転4軸※全方向でノイズ検出可能な標準モデル



エンジニアが待ち望んだ EMCノイズスキャナー

High Performance EMC Noise Scaner WM7000 シリーズ

WM 740





森田テック株式会社

エンジニアにとって待望の3つの理由



EMI+EMSの"リアルEMC"を実現できる

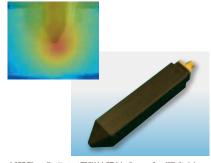
自社新開発のスポット(局所)イミュニティ機能を搭載した 磁界・電界プローブ 『MT-676電磁波照射プローブ (オプショ ン)』を装備することで、近磁界・電界の電磁波検知(EMI)に 加えて、電磁波照射による「スポット イミュニティ(局所RF印 加試験) 試験」を実現できます。

製品の検査はもちろん、電子機器の設計段階での電磁波感受 性が強い箇所を特定し、電磁波障害の発生メカニズムを解明 することが容易になります。

※ EMC (Electro-Magnetic Compatibility):電磁両立性

※ EMI (Electro-Magnetic Interference) :電磁妨害・放射 (エミッション)

※ EMS (Electro-Magnetic Susceptibility) :電磁感受性・耐力 (イミュニティ)



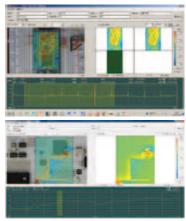
新開発の『MT-676電磁波照射プローブ』(写真上)。 照射部(径1.6mm)から電磁波を照射することで、電 子部品をスポットでイミュニティ試験が行える。 左上は、MT-676電磁波照射プローブの放射パターン



専用ソフトウエアでビジュアライズ ノイズとEMS発生源が一目瞭然

従来機からのEMIは、専用ソフトウエアで高速 かつ正確なノイズ測定 (EMI) を実現。測定物 の写真とノイズマップの重ね合わせでノイズ 発生源も一目瞭然。イミュニティ試験におい ても、同ソフトウエアでEMSの発生する固有 の箇所を可視化できます(オプション)。

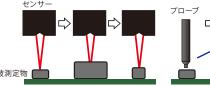
> 非測定物の写真と測定結果を左右のエリアに表示(写真上)し、3Dマップデータ としても出力可能。写真下は、イミュニティ試験時の電磁波侵入経路可視化





ロボット、ソフトウエア、 プローブはすべて自社開発!

長年の研究開発によって選び抜かれた高い 信頼性を誇るロボット、高精細ビデオカメ ラ、高精度レーザー距離計の組み合わせで 高性能かつコンパクトを実現。自社開発の 多彩な磁界・電界プローブで、用途に合わせ た広帯域・高分解能測定が可能です。





レーザー式距離センサーにより被接触で非測定物の形状を測定(左)。 さらに異なる高さの部品面に対して、等距離の測定を行うことより高感度 で正確なノイズ測定を実現できる(右)

■ WM7400 仕様

測定範囲	W300mm×D215mm×H100mm(カメラ撮影可能範囲、A4サイズ)
測定方法	近磁界プローブ走査式(レーザー距離計付き)
位置精度(X,Y,Z)	±0.01mm(単方向移動の場合)
位置精度(θ)	±1.0°
測定周波数範囲	150kH z~3GHz (標準) /150kHz~8.0GHz (Opt.150K8G)
最小スキャンステップ	0.1mm
外観寸法	W490mm×D709mm×H620mm(コネクタ等の突起物は含まず)
重 量	約40Kg以下(本体のみ、スペクトラムアナライザとPCは含まず)
入力電圧	AC100V~240V
最大消費電力	150VA (MAX)(スペクトラムアナライザは含まず)

WM7400 対応プローブについては、別カタログをご参照ください



写真は、弊社製のWM7400専用設計のシールドボックス(別売)

■ 製造元



森田テック株式会社

T206-0804

東京都稲城市百村 2113-4

TEL: 042-401-6330 FAX: 042-401-6331

e-mail: info@morita-tech.co.jp HP: www.morita-tech.co.jp ■ 販売代理店